

## < コロナ禍における私幼団体の実態調査 >

### 福岡市

#### 1. コロナ禍での行政とのやり取りがどの様に行われているか

- ・今年度の補助金については予算消化は困難と予想できるため、返還金が発生することが予想されるため、来年度以降の予算編成に影響がないことを打ち合わせしている。
- ・市長陳情については2回行った。

#### 2. 各政令市で感染者が出た時に、市がどこまで発表して、私幼団体がどこまで、どのように加盟園に伝えているか

- ・幼稚園で5人以上のクラスターが発生した場合、市が施設名を発表する。
- ・私幼団体から別途に発表はしない。  
5人未満の場合でも市や保健所への報告は行うように依頼しているが、団体が知り得たとしても特に通知は行っていない。

#### 3. 研修会をどの様に行っているか

- ・会場によって人員を制限し、分散開催及びリモート研修との併用で行った。
- ・現在は人員を制限し感染防止に十分配慮しつつ極力集合研修を行っている。

#### 4. 予算が執行できない状況でどのように処理する予定でいるか

- ・補助金に係る部分は市へ一部返還する見込み。

#### 5. 就職に向けての学生とのつながりをどの様にとらえているか、また実行しているか

- ・例年よりも少ないものの、承諾を得られた養成校へ出向き案内を行った。
- ・合同就職説明会も11月に行う予定。